

福島を安全に



～ 事故ゼロプラン ってどんな取り組み？ ～

事故データや地方公共団体、地域住民からの意見等に基づいて、交通事故の危険性の高い区間を「事故危険区間」として選定し、事故要因に即した対策を重点的・集中的に実施するとともに、以下の「マネジメントサイクル」に基づき継続的に対策を実行しています。

Plan 事故危険区間の選定 ～ 3 step で事故危険区間を選定～

step 1

交通事故発生状況及び特性の分析

事故データや地域の声を把握し、交通事故の発生状況や事故の特性を客観的に分析し、事故の要因を検討

step 2

事故危険区間の抽出

- 死傷事故の発生割合が高い区間
 - 重大事故が発生している区間
 - 地域住民が危険と感じている区間
- などに着目し、事故危険区間を抽出

step 3

事故危険区間の抽出(代表的な区間)

- ① 事故が多発する区間
- ② 重大事故の発生した区間
- ③ 交通弱者の安全性を確保する区間
- ④ 利用者から指摘のある区間のいずれかに該当する区間を、代表的な区間として抽出

Do 対策の実施 ～ 事故状況や発生の要因を検証し、効果の高い事故対策を実行～

対策の代表事例

速度抑制 対策 ～ドットライン～

- 主な効果
道路の幅を狭く見せ、スピードを抑える効果



注意喚起 対策 ～カラー舗装～

- 主な効果
交差点の直前であることをドライバーに注意させる効果



交差点 対策 ～ゼブラ帯～

- 主な効果
交差点内の走行距離を短くし、車の巻き込み事故を防止する効果

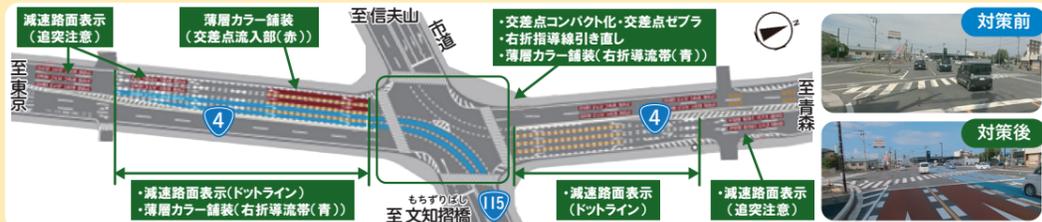


Check 対策効果の検証 ～ 対策完了後の効果を事故データ等により検証・評価～

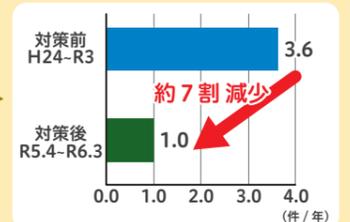
● 事故発生状況

一般国道4号「岩谷下交差点(福島県福島市入江町)」では、平成24年～令和3年の10年で36件(年平均3.6件)の死傷事故が発生。

● 対策内容(ドットライン、カラー舗装、ゼブラ帯 など)



● 対策効果(死傷事故件数)

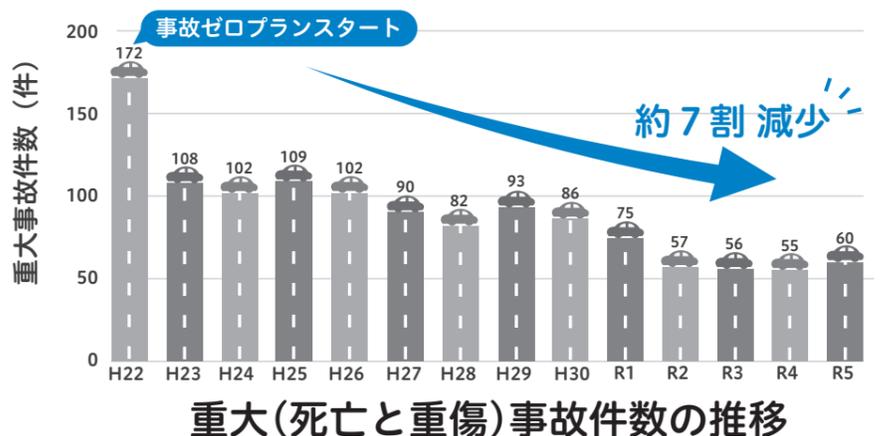
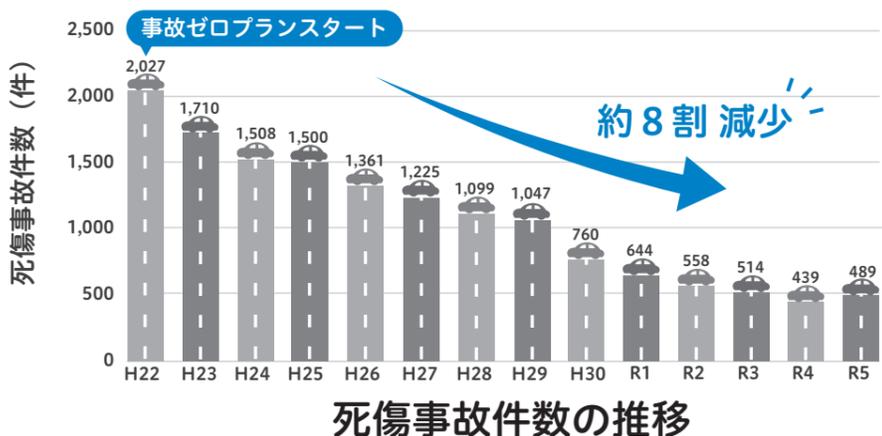


Action 追加対策の検討

～必要に応じて、対策効果の検証を踏まえた追加対策を検討～



現在までの対策効果 (H22～R5)



お問合せ先

福島県道路交通環境安全推進連絡会議 事務局

国土交通省 福島河川国道事務所 道路管理課
 国土交通省 郡山国道事務所 交通対策課
 国土交通省 磐城国道事務所 管理課

TEL : 024 - 539 - 6130
 TEL : 024 - 946 - 8167
 TEL : 0246 - 23 - 0964